

信州大学農学部と JA 長野県グループとの産学連携による 共同研究等の推進に関する協定の締結

平成 17 年 12 月 20 日、農学部と JA 長野県グループは、研究開発、新規事業の創生、教育および人材育成に関する連携協定を締結しました。農学部として初めての産学連携協定となります。

背景となる実績

信州大学は伊那市などと包括的連携協定を結び、産学官連携による新産業創生、人材育成を通じた地域活性化に資する活動を行っています。

農学部は具体的な産学連携の推進による農業に関する研究開発の振興と、人材育成ならびに人材ネットワークの形成をめざしてきました。とくに、JA 長野県グループの各組合とは、個別に講師派遣、技術指導等を進めてきました。

JA 長野県グループは農業振興を目指しながら、農学部の研究者への支援、農学部での「グリーンキッズ大学」の開催、実習・講義への協力等、産学連携の基礎となる活動を展開してきました。

目 的

このたびの連携協定は、長野県各地域における農業の振興、共同研究、受託研究による新技術の開発および普及を主な目的とし、専門技術者、研究者の相互派遣による「技術教育ゼミナール」、「職員教育」ならびに学生の「インターンシップ」等の人材の育成、交流を推進するものです。

また、共同でシンポジウム、セミナー等を開催し、地域への農業情報の公開および農業に関する啓発、情報およびデータベースを公開し、相互の利用を推進します。

さらに、連携担当窓口を設け、連絡調整を図るとともに、連携協議会を定期的を開催し、進捗状況を管理、評価します。

効果と意義

共同研究、開発の事務的負担を軽減し、長野県内の農業団体との産学連携のモデルとなることで、地域における本学部のプレゼンスを高めるものです。また、多分野、多方面からの専門家の参加を必要とする場合にも迅速な対応が可能です。